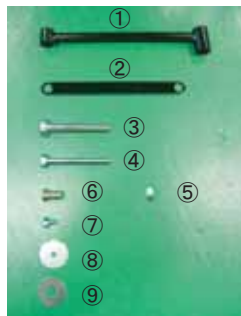




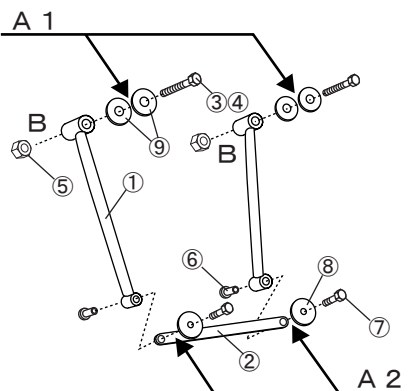
ユニバーサル サドルバッグ サポート 取扱説明書 品番 HM633/-1

ご使用前に必ずよくお読みください。また本書は製品を破棄するまで大切に保管してください。



■ 構成商品

番号	品名	左右	片側	備考
①	サイドステー	4	2	
②	クロスステー	2	1	
③	六角ボルト M10X70	4	2	
④	六角ボルト M8X70	4	2	車種により使用しない 場合有り
⑤	M8ロックナット	4	2	
⑥	クロスステーナット	4	2	
⑦	六角ボルト M6X15	4	2	
⑧	クロスステーワッシャー	4	2	
⑨	M10ワッシャー	8	4	



■ 取り付け位置

A 1 : サドルバッグ上側
A 2 : サドルバッグ下側
B : 車体へ

■ 取り付け方法・手順



- ① ステー類を上図を参照して仮組みします。
- ② 付属ボルトM8 X 70またはM10 X 70を使用して車体に仮付けします。
注意：一度に両側を作業せず、片側ずつ行ってください。
注意：取り付けボルトの長さ・太さが合わない場合は別途ご用意ください。
参考：取り付けボルトはノーマル長+30mmにしてください。

- ③ サドルバッグをサドルバッグサポートにあてがい、サドルバッグとサドルバッグサポートの位置を決定し、サドルバッグサポートを固定します。

注意：エンジン・排気系パーツなどの高温になるパーツに触れないようにしてください。

注意：タンデム時に、サドルバッグとタンデムステップに十分なクリアランスを確保してください。

- ④ 六角ボルトの頭にグリス・オイル・塗料等を少量塗布し、サドルバッグを軽く押し当て、穴あけ位置の目印にします。（上下2ヶ所ずつ計4ヶ所）

参考：サドルバッグの裏と同形の型紙をダンボール等で作成すると作業が容易になります。

- ⑤ サドルバッグの目印部分にドリル・皮用穴あけポンチ等を使用して取り付けボルト径にあった大きさの穴をあけます。

- ⑥ サドルバッグサポートを一度取り外し、分解します。

- ⑦ 左図を参照して、A 1 及び A 2 部分にサドルバッグを挟み込み、サドルバッグサポートを取り付けます。

- ⑧ 車体にサドルバッグ・サドルバッグサポートを取り付けます。

- ⑨ サドルバッグの左右連結帯はノーマルシートの上または下を通すか、バッグの背面にたたむか、切り取ってください。

注意：切り取る場合、サドルバッグ本体を切らないように注意してください。

- ⑩ 各部が接触していないことを確認します。

- 1) サドルバッグとマフラー等の高温になるもの
- 2) サスペンションストローク時
- 3) 取り付けボルトとリアタイヤ etc.,,

■ 取り付け例



サドルバッグ背面（サドルバッグサポート装着）



株式会社 **アクティブ**

〒470-0117 愛知県日進市藤塚七丁目55番地
TEL (0561)72-7011 FAX (0561)72-7012
URL <http://www.acv.co.jp>

この度は、本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

**危険**

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

- エンジン始動時及び停止直後はしばらくの間、エンジン・マフラー等は高温になっており、必ず冷間時に作業をすること。(素手で触ると火傷をする恐れがあります)
- 作業を行う際は水平な場所で車両を安定させた、安全な状態で作業を行うこと。(オートバイが転倒し怪我をする恐れがあります)
- ガソリンは非常に引火しやすいため、作業場所は火気厳禁のこと。また近くにガソリン等の危険物や可燃物を置かないこと。(火災の原因になります)
- 排気ガスには有害成分が含まれているため、換気のよいところで作業を行うこと。(一酸化炭素中毒等になる恐れがあります)

**警告**

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を指示しています。

- ボルト・ナットはサービスマニュアルに従い規定トルクを厳守してください。(締め付け不良はボルト・ナットの破損、部品の脱落等につながる恐れがあります)
- 取り付けは技能・知識のある方を対象としております。整備資格のある販売店または認証工場で行ってください。(製品の機能が損なわれ故障等の原因になります)
- 当社指定車種以外には取り付けは行なわないでください。(製品の機能が損なわれ故障等の原因になります)
- お客様ご自身による分解・改造・修理は危険ですので行なわないでください。修理の際は、お買い上げ販売店または当社までご連絡ください。
- 法定速度を厳守して安全運転を心がけてください。

**注意**

誤った取り扱いをすると、人が傷害および物的損害を負う可能性が想定される内容を指示しています。

- 取り付けの際には、整備に適した作業着・帽子・安全靴を必ず着用し、必要に応じて防塵眼鏡・防塵マスク・手袋等の保護用具を着用して身体を守ってください。
- 製品取り付け後は、走行前に必ず走行に関する機能が正常であることを確認したうえで走行してください。
- 製品取り付け後は、ボルト・ナット等を約100km走行後改めて規定トルクで増し締めを行ってください。また500km毎に定期点検を、お客様の責任において行ってください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに走行を中止し安全な場所に停止して異常箇所の点検を行ってください。

